

# 循環型社会の形成を目指して エコパークかごしまがオープンしました

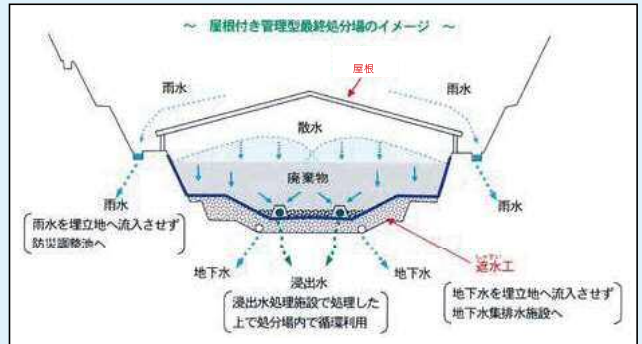
平成27年1月に、公共関与による産業廃棄物管理型最終処分場「エコパークかごしま」がオープンしました。  
鹿児島県内で排出される廃棄物は県内で処理するという責任ある体制が整いました。

## エコパークかごしまとは

国内最大規模の屋根付きの産業廃棄物管理型最終処分場です。

屋根付き管理型最終処分場は、従来の管理型最終処分場に比べ、次のような優れた点があります。

- 1 埋め立てた廃棄物に触れた水（浸出水）の量が、降雨量に左右されないため管理がしやすくなります。
- 2 散水量を適正に調整できるので、有機物の分解を促進することができます。
- 3 埋立地を屋根や壁で覆うため、廃棄物の飛散や流出、臭気の拡散などを防止できます。



**概要**

- ・ 屋根付きの施設の面積 約44,000㎡
- ・ 廃棄物の埋立容量 600,000㎡
- ・ 浸出水処理施設能力 60㎡/日
- ・ 防災調整池 約38,000㎡

## 最新技術を導入した安全性の高い施設です

エコパークかごしまでは、屋根付き施設のほかに次のような最新技術を導入し、安全性の高い施設を整備しました。

- 1 地下水の汚染防止に万全な対策を講じた遮水工を整備しました。

- 2 処理水を河川に流さない浸出水処理施設を整備しました。

### 浸出水処理施設



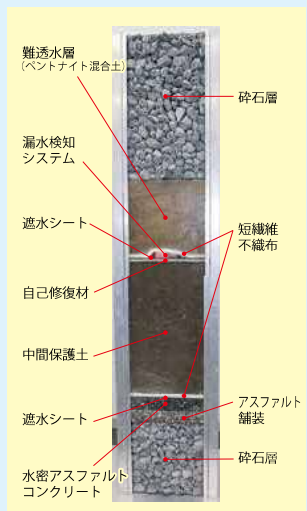
廃棄物に触れた水を排水基準を満たす水質になるまで処理し、処分場内で循環利用します。

- 3 環境監視のため、モニタリングシステムを整備しました。

### 管理棟監視盤



モニタリング情報や火災・ガス等の監視など、安心・安全な処分場の管理運営を行います。

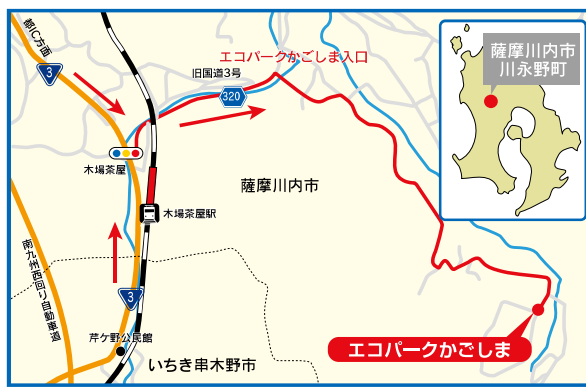


## エコパークかごしま案内図

所在地 / 薩摩川内市川永野町6924-11

交通 / 南九州西回り自動車道薩摩川内都ICから約5km  
旧国道3号線から約1.9km

搬入時間 / 午前9時～午後4時（土日祝日、年末年始を除く）



## 受け入れられる廃棄物の種類について

産業廃棄物は、私たちの暮らしを支える事業活動に伴って生じる燃え殻、汚泥などで、法令で20種類が定められています。

エコパークかごしまでは、そのうち以下の14種類を受け入れることができます。

燃え殻、汚泥、廃プラスチック、紙くず、木くず、繊維くず、動植物性残さ、ゴムくず、金属くず、ガラス・コンクリート・陶磁器くず、鉱さい、がれき類、ばいじん、13号廃棄物（そのままでは処分できない廃棄物をコンクリートで固めたもの）  
※廃石膏ボードや石綿含有廃棄物を含みます。



燃え殻



汚泥



ガラス・コンクリート陶磁器くず

## 廃棄物の受入基準等について

14種類の廃棄物なら誰でも持ち込めるわけではありません。

エコパークかごしまを運営する（公財）鹿児島県環境整備公社が排出事業者から処理委託の申し込みを受け、立ち入り調査やサンプル分析を行い、受入基準との合致を確認して、契約を締結する必要があります。

また、契約後、搬入車両の運転手には講習を受けてもらいます。

### 受入基準（共通基準）

- ① 原則として鹿児島県内で排出されたものであること
- ② 原則として2種類以上の廃棄物を混載していないこと
- ③ 運搬中に飛散、流出しないように必要な措置を講じてあること
- ④ 著しい悪臭を発生しないこと
- ⑤ 引火性、発火性、爆発性のないこと など9項目

共通基準のほかに、廃棄物の種類ごとに個別基準を定めています。

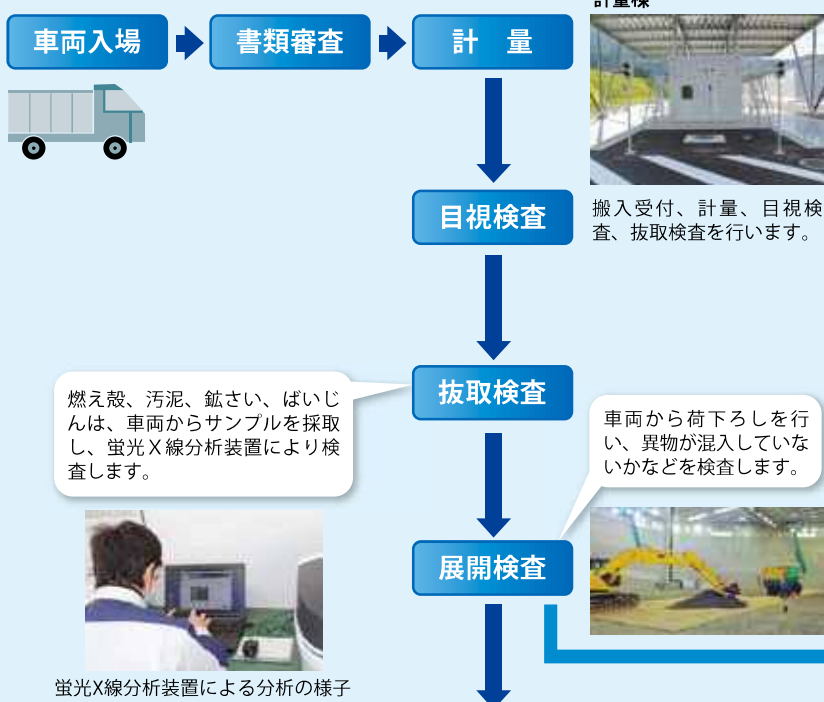
## 廃棄物の搬入から処理までの流れについて

搬入された廃棄物は、計量棟や埋立地内で検査を行い、受入基準に適合しているかを確認後、埋立作業を行います。

また、エコパークかごしまでは、屋根付きの特性を生かした埋立・散水方法や監視体制のもと、埋立廃棄物の早期安定化\*の取り組みを行います。

※安定化…廃棄物の分解などにより、自然のままでは環境に影響を及ぼさない状態

### 1 受入廃棄物の検査フロー



燃え殻、汚泥、鉱さい、ばいじんは、車両からサンプルを採取し、蛍光X線分析装置により検査します。



蛍光X線分析装置による分析の様子

計量棟

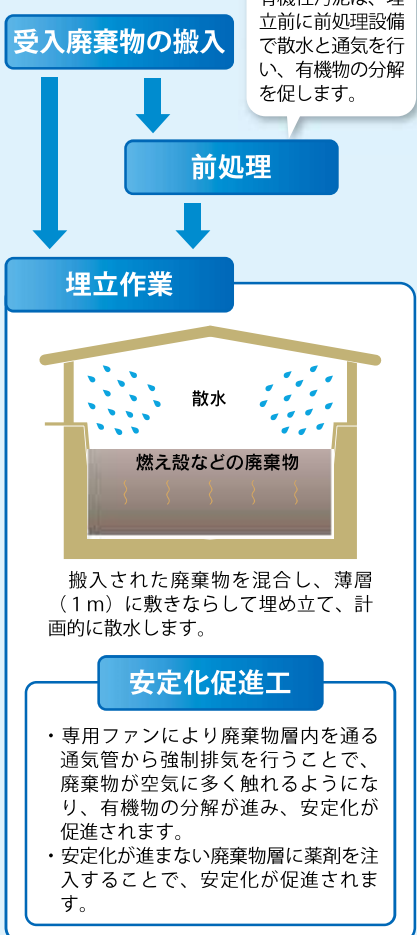


搬入受付、計量、目視検査、抜取検査を行います。

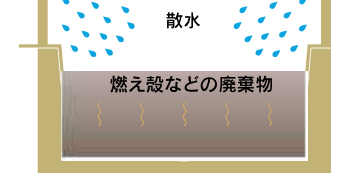
車両から荷下ろしを行い、異物が混入していないかなどを検査します。



### 2 埋立全体フロー



有機性汚泥は、埋立前に前処理設備で散水と通気を行い、有機物の分解を促します。



搬入された廃棄物を混合し、薄層（1m）に敷きならして埋め立て、計画的に散水します。

- ・専用ファンにより廃棄物層内を通る通気管から強制排気を行うことで、廃棄物が空気に多く触れるようになり、有機物の分解が進み、安定化が促進されます。
- ・安定化が進まない廃棄物層に薬剤を注入することで、安定化が促進されます。

## 周辺環境への影響等についてのモニタリング結果について

エコパークかごしまでは、廃棄物処理法等関係法令や地元との環境保全協定に基づき、浸出水や地下水、騒音、悪臭など周辺環境への影響等についてモニタリングを実施し、その結果をホームページなどで公開します。

（公財）鹿児島県環境整備公社ホームページ  
<http://www.ep-kagoshima.or.jp/>

**エコパークかごしまは、安心・安全を第一に万全の管理運営を行います**